

(株)つり人社「IREGUI」 別冊つり人vol.338
 関西船釣りIREGUI最前線に掲載していただきました。



良型25cmを食わせたのはエイト玉津オリジナルの「明石イカ墨 船メバル仕掛」。イカ墨で染めた短バケで黒バリ、全長4.8mのロング仕掛けでトレンド的な仕掛け

口の皮一枚、1尾釣るごとにバケを確認しちぎれていたり、変なクセが付いてしまったら仕掛けを交換したほうがよい

船釣りにGAME File_07



エイト玉津スタッフの名田京助さん(左)と店長の太田大さん。お店のオリジナルをはじめ各社の最新仕掛けを大量に持ち込んで使用感をチェック

[2012.5.25/兵庫県明石浦漁港・丸松乗合船]
 大阪湾から播磨灘にかけての冬はメバルがナンバーワンの釣りものだ。特に明石あたりの船釣りは長い磯ザオを使用する独特のもので、もともとメバル好きな土地柄だけにコアなファンが実に多い。そのメバル釣りで欠かせないのが多種多様なサビキ仕掛け。季節外れだったが明石の船メバルに詳しい「エイト玉津」スタッフにお願いして「これが最新トレンド!」という仕掛けを持ち込んでチャレンジしてもらった。

写真&文◎高崎冬樹

普通ではわからない5月下旬のメバル。ハイシーズンの冬にくらべて引きがかなり強かったと名田さんが一言

播磨灘、鹿ノ瀬のメバル釣りは12月から翌年4月いっぱいシーズンである。釣れだしの12月はサイズは小さいが30尾、40尾と数がねらえ、調子がよければ複数のメバルが鈴なりになるにぎやかなシーズンだ。その後、徐々に水温が低下し2月から3月の厳寒期は数こそ少なくなるが25cm以上の大型が高確率で混じるようになる。

近年はシーズンを通じてサビキ仕掛けでねらうようになった。以前は初期はシラサエビ、2月からはシロウオをエサにすることが多かったのだが現在はサビキが主流。とはいっても、これはつい3年ほど前からの現象だという。明石方面への釣り客が多く立ち寄り釣具店「エイト玉津」でもここ2、3年はエサ釣りのドウツキ仕掛けよりも圧倒的にサビキ仕

7尾中6尾が20cm超
 最大は26cm





ポイントは鹿ノ瀬の水深15mライン。シーズンは終盤というより普通はねらわれない時期。数は2人で7尾と少なかったが20cm強をメインに最大26cmまでがぼつぼつ食ってきた。ヒット時間、サイズ、使用仕掛け、釣り手は以下のとおり。

- 6時53分 20cm 「職人メバル仕掛(B)」アシスト工房(大西)
- 7時33分 26cm 「船頭仕込み瀬戸内船メバルサビキ」がまかつ(名田)
- 7時40分 22cm 「種小しらすメバル」ハヤブサ(大西)
- 7時54分 25cm 「明石イカ墨 船メバル仕掛」イト玉津(名田)
- 7時59分 21cm 「明石イカ墨 船メバル仕掛」イト玉津(名田)
- 8時24分 15cm 「鳴門サビキ」誠和釣具(名田)
- 8時37分 20cm 「じゃこメバル」ささめ針(大西)



この日、お世話になったのは明石浦漁港から出船する「丸松乗合船」(☎078-912-7039)。36席の第八明石丸、40席の第七明石丸の大型2隻と小型船をもう1隻の計3隻で快速な沖釣りを提供している



シーズン外れのこの日はマダコとガシラのリレー

当日のメバル釣りはなかば無理矢理お願いしただけにメバルをねらえたのは朝の一時だけ。その後、テンヤのマダコ釣り、ドウツキで冷凍イカナゴをエサにしたガシラ釣りをリレーして終了。マダコは名田さんが写真の1パイだけだったがガシラは好調で立派な煮付けサイズが揃った。別船はマダイねらいに出ており淡路沖のポイントで30~48cmを10人で30尾の釣果があった



5月25日の釣果。メバルはまずまずの型揃い。お土産用のガシラもぼちぼち。シーズン初期の12月は20cmまでの数釣り、2~3月のハイシーズンは尺オーバーの大型がねらえる



イト玉津(☎078-922-0008)は明石方面の釣りに便利な第二神明道路・玉津ICを降りてすぐであり、船メバルの仕掛け類、タックルが豊富で店長の大西さん、スタッフの名田さんに声をかければ釣り方など親切に教えてくれる

冬場に比べ格段に強かったようだ。

この日は季節外れということもありメバルをねらえたのは午前9時頃まで。予想どおり数は2人で7尾と少なかつたもののサイズは7尾中6尾が20cmオーバーで最大26cmとまずまず。何より水温が高い時期なのでメバルの引きはシーズンの

安に集中してねらいたい。

この日は季節外れということもありメバルをねらえたのは午前9時頃まで。予想どおり数は2人で7尾と少なかつたもののサイズは7尾中6尾が20cmオーバーで最大26cmとまずまず。何より水温が高い時期なのでメバルの引きはシーズンの

掛けが売れるらしい。

最新のトレンドとしてはバケが短いシヨートタイプでハリのカラーは黒系に人氣があり、実際によく釣れるという。

その威力をたしかめるべく取材日が5月25日という普通ならメバルをねらわれないシーズンの撮影になってしまったが、イト玉津の大西店長、スタッフの名田さんにさまざまな仕掛けを持ち込んでもらい、どんどん取り替えて釣ってもらったところ、やはり短バケ黒バリの釣果がよかったように思われる。

明石方面では5m近い長い仕掛けをさばきやすい磯ザオ愛用者が多いのが特徴。そこで4年前からのこの釣りにハマった名田さんは5・3mの中通し磯ザオをチョイス。一方でルーアー志向の強い大西店長は3・3mの船メバル専用ザオを選択。

釣り方の基本は底を取ったら1mほどゆっくり誘い上げ、すぐにゆっくり下ろしてアタリを待つだけ。アタリがなければ、時折り3・4m持ち上げて1m下ろしタナを変えてアタリを待つ。ただし海底から4m以上をねらうことはない。また、メバルが仕掛けの上下どのハリに掛かるかでタナを見極めて、そのタナを目安に集中してねらいたい。

明石のサビキメバル

エイト玉津スタッフの名田京助さんは、明石のサビキメバルにハマってまだ4年ほどだが、お店のオリジナル仕掛けを企画するなど造詣が深い

各社から発売されているメバルのサビキ仕掛けの多さには驚くばかり。あまりに多すぎて、さていったいどれを選ばよいか？ととりあえず注目するのはハリの数、そしてバケの長さ、ハリのカラー、枝スの長さ、これが使いやすいとよく釣れる？仕掛けの選択基準を伝授。

写真&文◎高崎 冬樹

**誘い上げは4mまで
当たったタナを
重点的に**

明石の遊漁船での基本的なサビキメバルの釣り方をエイト玉津スタッフの名田京介さんに聞いてみた。

まずオモリを着底させたらサオ先を持ち上げるようにして、ゆっくり1mほど誘い上げ、

High Tension
Game
File 06

すぐにサオ先をゆっくり戻して、仕掛けをじわっと下ろす。この時オモリが海底に着くか着かないかの、ほんの少しだけ切った状態にするのがベター。船は潮に乗って流れているのでしばらくその状態でアタリを待ち、アタリがなければ今度はリールを巻いて3〜4m持ち上げてから再び1m下ろし、それまでより2〜3m上のタ

市販仕掛けの チョイスに迷ったら...



エイト玉津の店頭に並んでいる仕掛けの中から店長の太西大さんとスタッフ名田さんがチョイスして丸松乗合船に持ち込んだだけでも、これだけの種類があった

ナをねらってみる。

基本はこのパターンでの繰り返し。反応がよかったタナを重点的に釣るようにする。また、何本かあるハリのどの位置で食ってくるかでも、メバルがいるタナが分かるので1尾釣れたら覚えておくようにしたい。底ギリギリで釣っていて、上バリばかりに掛かるようであれば、仕掛けを少し上にズラすようにする。

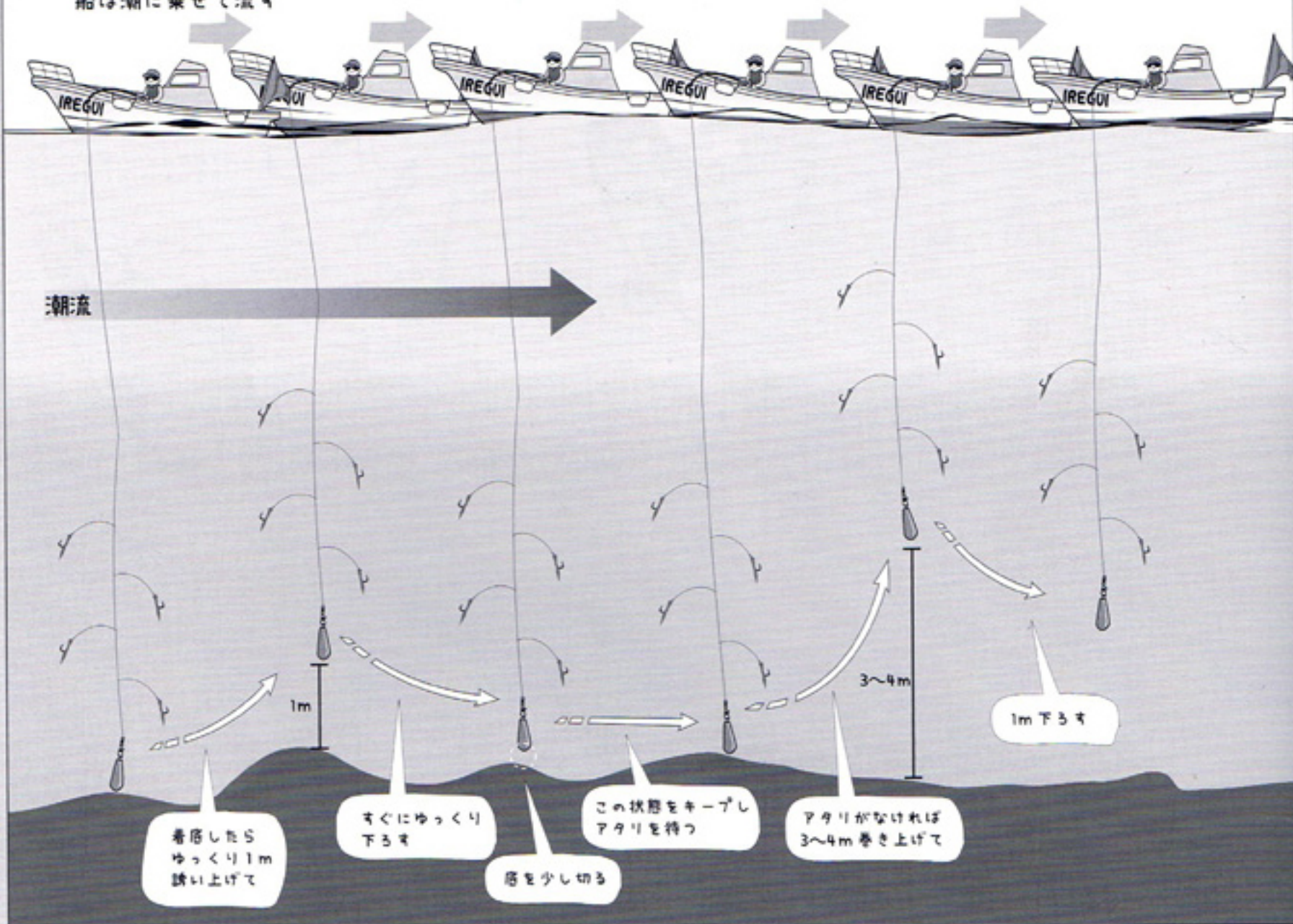
アタリは明確。サオ先にクックッと乗ってきたら、聞くような感じでサオ先を少しだけ

持ち上げてみる。そこでググググとメバルの引きを感じたら、サオを持ち上げながらリールも巻く、いわゆる巻きアワセをする。サオを突き上げるような激しくて急激なアワセは無効だ。

アタリがあっても、なかなかハリに乗らない時は、追い食いさせるようにサオ先で聞きながら、けっこう長い時間食い込みを待つのも手だ。エサ釣りのように小アタリでエサを取られることがないので、長時間海中でアタリを待っていられるのが

【明石のメバル「サビキ」釣法】

船は潮に乗せて流す



【明石メバル仕掛け】

【名田さん】



【大西さん】



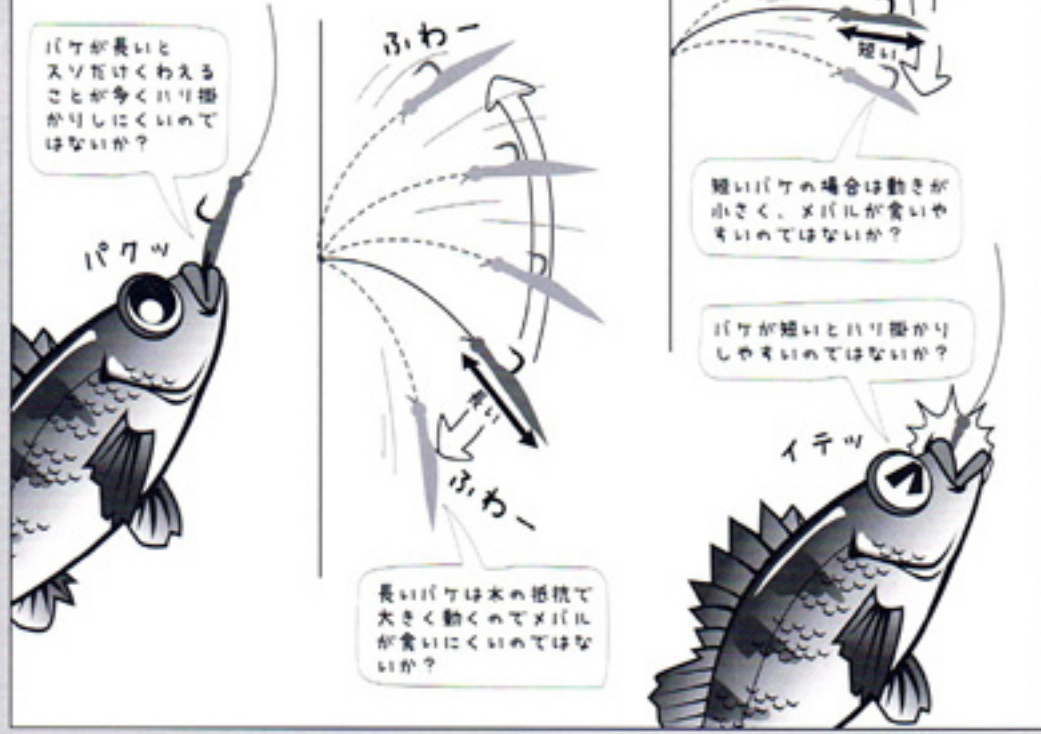
取材日に釣果があった仕掛け (カラーページ登場順)

- ①「職人メバル仕掛 (B)」アシスト工房 全長3.8mの8本バリ、枝ス15cm、短バケ、黒バリ
- ②「船頭仕込み瀬戸内船メバルサビキ」がまかつ 全長2.8mの6本バリ、枝ス20cm、短バケ、黒バリ
- ③「極小しらすメバル」ハヤブサ 全長3.3mの7本バリ、枝ス20cm、バケの長さは中程度、全バリ
- ④「明石イカ屋 船メバル仕掛」イト玉津 全長4.8mの6本バリ、枝ス18cm、黒バリ
- ⑤「鳴門サビキ」誠和釣具 全長3.6mの5本バリ、枝ス17cm、長バケ、全バリ
- ⑥「じゃこメバル」ささめ針 全長3.15mの6本バリ、枝ス20cm、短バケ、黒バリ

サオよりはるかに長い仕掛けは慣れないと扱いにくいので、使用するサオの長さと同程度かそれ以下のものを選びたい



【短バケが支持される理由!?!】



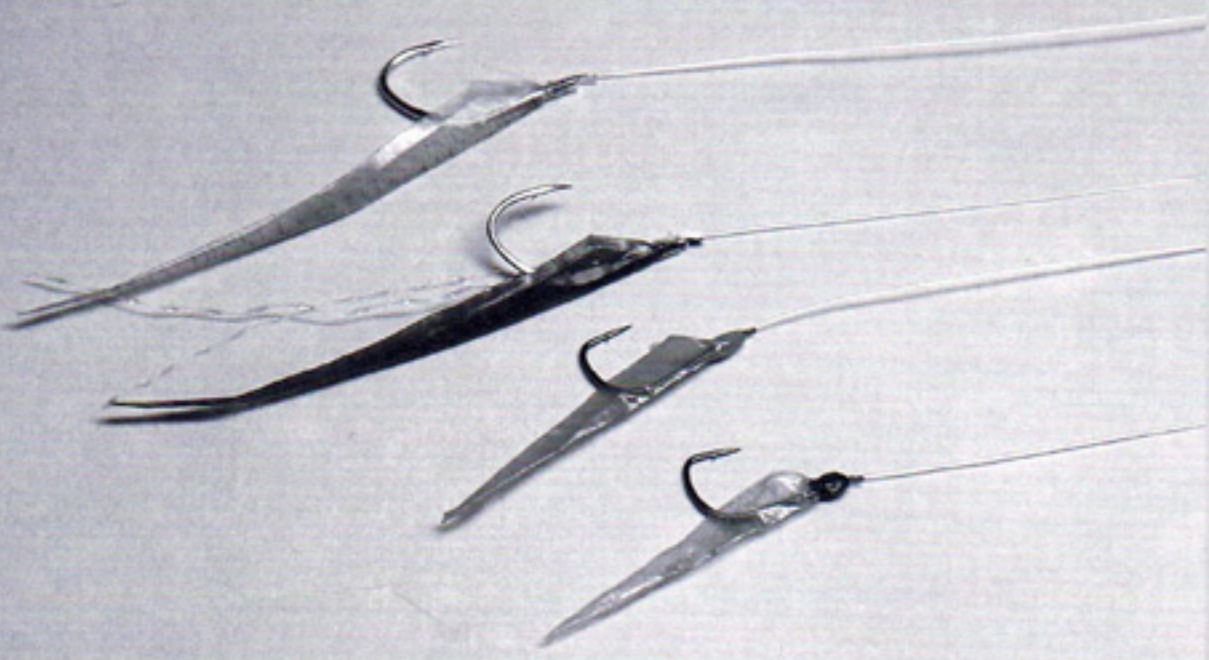
サビキ仕掛けの利点でもある。ただし、バケが縮れたりメバル以外の他魚に食い切られたりすることもあって、仕掛けを打ち返す際はバケの状態を必ずチェックし、もしもバケが1本でも縮れたり切れていたら即、仕掛けをまるごと交換しよう。

8本バリで、間合いの長短はあるが、ハリ数が多いものは当然仕掛けの全長が長い。はっきりしているのは、初心者ほどハリ数が少なく全長が短いものの方がトラブルは少なく釣りがやすいということ。目安としては初心者なら5本バリ、慣れた人は7、8本バリといったところで、標準的なのは6本バリ仕掛けである。

オモリが手に取れる長さの仕掛けを

現在、市販されているメバルサビキ仕掛けは、だいたい5〜

以前は長いバケで全バリのものが多かったが、最近は短いバケで黒いハリを使った仕掛けが多くなった。名田さんによればバケの先端がピンと尖っているほうがメバルの食いがよいという



使用するサオの全長と同程度か、それより少し短い仕掛けを選べばよい。仕掛けの長さギリギリまでリールを巻いて仕掛けをぶら下げ、オモリが手に取れる長さが理想的ではあるが、大は小を兼ねるで、長い磯サオを使っていれば、すべての市販仕掛けが難なく使用できる。明石周辺で磯サオが

もてはやされる理由は、ここにあるのかもしれない。たとえばエイト玉津オリジナルの「明石イカ墨 船メバル仕掛」は6本バリだが全長が4.8mと長く、5.3mクラスの磯サオでないと扱いにくい。ちなみにメバル仕掛けなのに「イカ墨」という名前が付いているのは、バケをイカの墨で染

関西船釣り

品揃え最強!!

CMOの出来 オールシーズン

FISHING イチバン Fishing エイト

7店舗揃って関西最大級

京阪神 船釣りファン 完全サポート

グループポイントカード100円2ポイント 1万円分クーポン 共済 船釣りカード100円2ポイント 1万円分 船釣りなど

広くてまっさら 2012年10月 オープンしました

Fishing エイト 京都伏見

新堀川通り下り、堀川手前。 ☎075-672-0080

和歌山も お任せください

大阪湾も お任せください

瀬戸内も お任せください

日本海も お任せください

ルアー・タイラハも お任せください

鳥羽も お任せください

Fishing エイト

西名阪・阪和・近畿道 長瀬入り口すぐ

06-6799-0080

Fishing エイト2

中央道伏見・近畿道 摂津北インター沿い

072-636-0008

Fishing エイト3

中央道伏見沿い 観音「プロッサム」南側

06-6912-0008

イト玉津

第二神明玉津インター出口 明石方面8秒

078-922-0008

FISHING 1BAN 池田

中国自動車道・池田 インター北171号線沿い

072-752-0018

1BAN 梅田

大阪駅前第4ビル1F (ルアー用品のみ取扱)

06-6346-1000

釣り具の通販は エサイチ・エイトオンライン taikobo.co.jp 営業時間、セール情報など [イチバンエイト](#) 検索